

■水藤錦穰 琵琶演奏家・作曲家。新楽器“錦琵琶”を考案して新流派{錦びわ}の初代宗家となり、広く作曲演奏活動。

すいとうきんじょう

大逆事件判決1911＝

明治天皇没・1912＝ 1歳：

東京の本所吾妻橋で、芸事好きな勤め人の父と家屋差配で家計支える母の娘に生まれる。本名中村富美。

祖母と13人の兄弟(妹3人は病氣や事故で夭折)という大家族と情緒豊かな下町の環境ですくすく育ち、

{報知新聞}に勤めながら、講談・落語・新内・清元を習い、とくに琵琶は奥伝になって禹水と号して門人までも抱えていた長兄の影響を受け、

べんじん条約・1919＝ 8歳：常磐津を習い始める。

大暴落・・・1920＝ 9歳：村谷堂水に出張して貰い自宅で、琵琶の手ほどきを受け、

原敬首相暗殺1921＝10歳： 奥伝となって倭水の号を受け、父に連れられ各所の琵琶の会に出ると、愛くるしきで評判となるが、

関東大震災・1923＝12歳： 大震災に遭遇、家は全壊するも家族は皆無事だったが、避難生活中に再建に奔走した母が過労で死去、富美の美貌と才能に注目していた

治安維持法・1925＝14歳： 錦心流の権力者琵琶師水藤枝水の養女にされ、水藤玉水と号する。表では厳しく稽古をつけられ、夜には愛人扱いされるという過酷な境遇を耐え忍び、美少女琵琶師として大人気、弟子も40人になる。

円本時代始・1926＝15歳： *枝水が創案したものに工夫を加えて“五弦五柱の錦琵琶”を生出し、枝水の策謀で、流派総帥永田錦心から女性ながら流派トップという異例の抜擢に加え、錦穰の号を与えられ、華々しくデビュー。周囲からの反発もあり、高弟に伍すには力不足のため、苦肉の策で、旺盛に新曲をつくり始め、作曲家としても始動。

金融恐慌・・・1927＝16歳： スーパースター永田錦心が死去すると、アイドル水藤錦穰に人気が集中して、弟子も急増、世界恐慌・・・1929＝18歳： 鶴田諫美が弟子入り櫻洲となり、その妹で自分と同年齢の鶴田歙水(菊枝)も弟子入りして櫻玉と号する。この年、{読売新聞}が企画した芸能界の人気投票で琵琶部門で断トツの一位。

海軍軍縮条約1930＝19歳： *琵琶界を牛耳ろうとする枝水の命で秘曲「隅田川」を発表、錦心流の専門誌{水聲}で巻頭記事に取り上げられるも、同号に錦穰の大演奏会広告を大きく載せたことが問題となり、枝水ともども破門されてしまう。以後、枝水と錦心流の争いが度々新聞を賑わし、告訴問題にまで発展したが、有力者らによって仲裁されるとともに、枝水が引退。結果として琵琶界は衰退して行くなか、錦穰に集まる同情に目を付けたビクターにより「白虎隊」をレコード化、売行き良く3年契約となる。

満州事変・・・1931＝20歳： 谷中に転居後、枝水の子を出産、実家にことの次第を打明け、ようやく晴れ晴れするも束の間、枝水によって子供は話され、錦心流の名人の一人に預けられてしまう。

日中戦争始・1937＝26歳： 堀口大学訳のジイド「女の学校」出版を契機に女性自立の風潮が高まり、 枝水に反抗し暴力受けるなか、

総動員+健保 1938＝27歳：

第二次大戦始1939＝28歳： 枝水が家に女性を入れたことを機に、ファンだった大企業社長の2年越しのサポートを得て、養家を出、

大政翼賛会・1940＝29歳： 招待されたパーティで出会った慶大出身で海運会社に勤める牛沢襄二に一目ぼれ、

日米開戦・・・1941＝30歳： 陸軍記念日の邦楽の会に出演、櫻玉(菊枝)と再会、日比谷公会堂での錦穰の演奏会では伴奏して貰う。

・・・1942＝31歳： *平九郎を良く歌うのに愛宕山の石段登ったことが無いのを牛沢に叱られる。清元に通じ邦楽の作詞をしていた牛沢から、「敦盛」「鞍猿」「熊野」「三井寺」「青笛」など次々作詞を与えられ、作曲についても厳しく指摘されるなか、工夫を重ね、ついに傑作「時雨曾我」を生み出し、

創価学会検挙1943＝32歳： 大東亜会館での新作発表会で初演、代表曲になる。牛沢の子を身ごもり、

年金+総武装 1944＝33歳： 反対押し切り、男児(のちの水藤五朗)を出産。

敗戦・・・1945＝34歳： 埼玉県寄居の枝水の門人宅に疎開するが、時々東京に戻るうち大空襲で九死に一生、牛沢とも再会、

新憲法公布・1946＝35歳： 池袋で琵琶師の活動を再開するが、GHQが琵琶を軍国主義的なものと排除したため、壊滅的打撃受けるなか、後援してくれた弁護士が足立区の家を使わせてくれることになり、牛沢の妻に預けてあった子も引取ることができると、誰からも愛される性格であったが、実態は自転車操業。

新憲法施行・1947＝36歳：

独立回復・・・1951＝40歳：

自衛隊発足・1954＝43歳： この頃、 鶴田櫻玉に稽古つけると亀戸に時折通って金銭的援助を受け、頭が上がりなくなるが、

国連加盟・・・1956＝45歳： ・・・
なお、第一人者としての地位を保ち続け、

安保闘争・・・1960＝49歳：

大学紛争始・1965＝54歳：

ドルショック・・・ 1971＝60歳： {新婦人しんぶん}のコラム「母の歴史」掲載。

石油ショック1973＝62歳： *筑前琵琶{紅会}の定期公演にゲストとして招かれトリを務めた際、演奏中に脳溢血で倒れ、没した。

佐宮圭「さわり」、